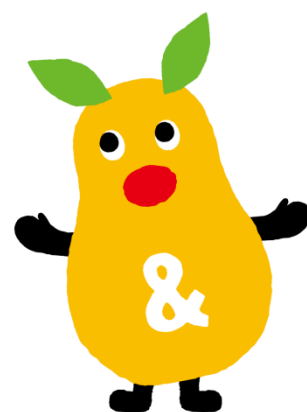


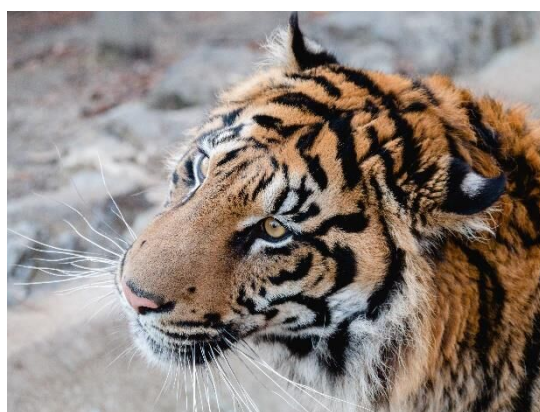
幼・保育園、小・中学校、子ども会ほか教育関係団体関係者の皆さまへ



令和7年度 東山動植物園

環境教育プログラム

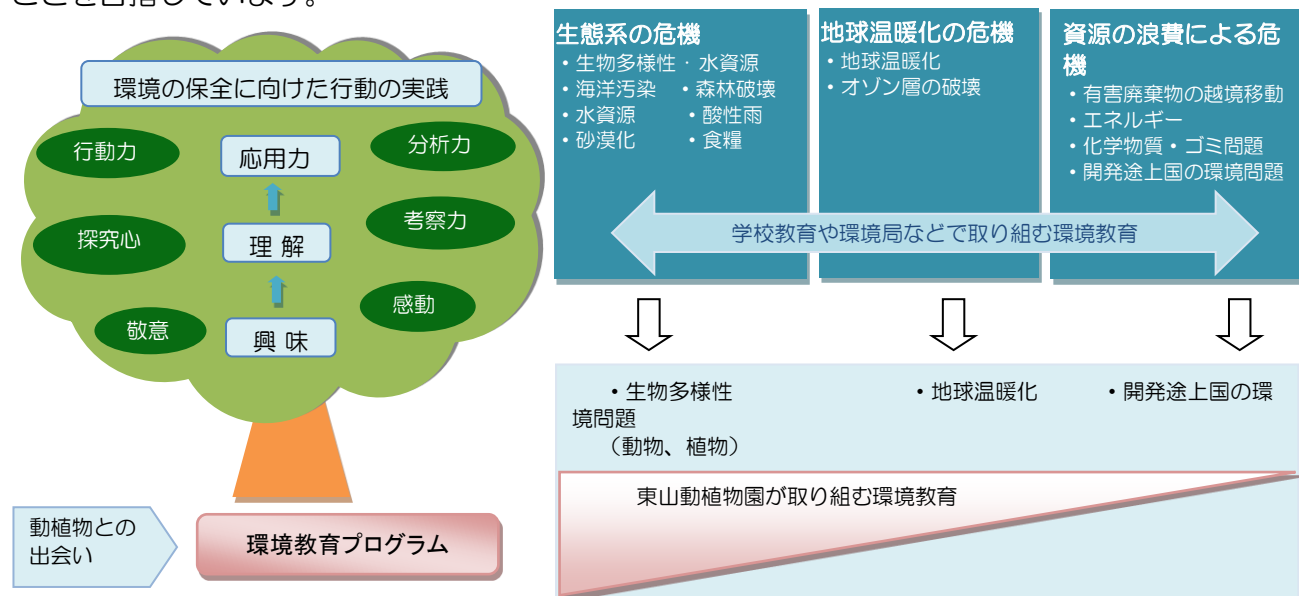
(動物園編)



スマトラトラ

東山動植物園の環境教育プログラムのご案内

動植物園は従来の自然科学教育だけでなく、環境教育の担い手として大きな役割を持つといわれています。環境保全に向けた行動を実践していくためには、動植物への理解を深めることが必要です。そのための第一歩は、動植物に興味を持っていただくことと考えています。東山動植物園では、生態系に関する問題を中心に、生きた動植物を素材として、その出会いから始めるさまざまな環境教育プログラムを用意しています。本プログラムにより、受講者が動植物に興味を持ち、動植物が置かれている状況への理解を深め、環境問題に取り組むための判断力を身につけることを目指しています。

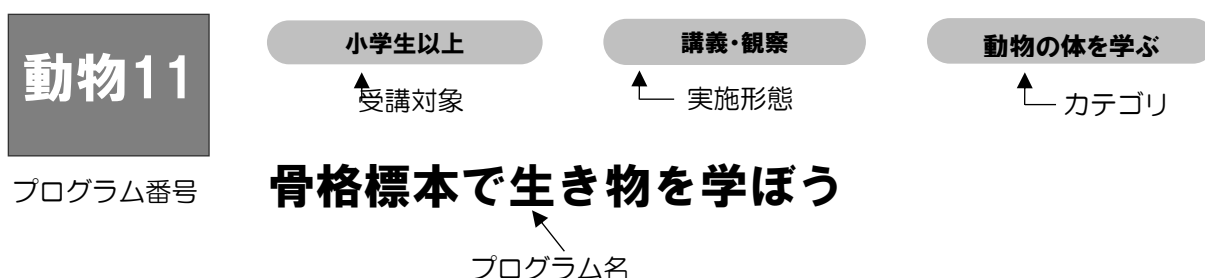


学習指導要領との対応

	プログラム番号 教材名・単元	動物園プログラム																									
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26
国 語	(教材名)																										
小学1年生	どうぶつの赤ちゃん	●																									
小学2年生	どうぶつ園のじゅうい		●																								
理 科	(単元)																										
小学3年生	身近な自然の観察													●	●	●											
小学4年生	季節と生物			●										●	●	●	●										
小学5年生	動物の誕生	●												●	●												
小学6年生	生物と環境	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
中学生 第2分野	生物の観察			●								●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	動物の体のつくりと働き	●		●	●	●	●					●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	動物の仲間			●	●							●	●	●	●	●	●	●	●	●				●		●	
	生物の変遷と進化					●			●			●	●		●			●									
	生物の成長と殖え方													●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
	生物と環境		●	●	●		●	●	●	●	●			●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	自然の恵みと災害											●															
	自然環境の保全と科学技術の利用		●	●		●	●			●	●			●	●		●		●		●			●			

以下に、バラエティにとんだ30あまりの動物園の環境学習プログラムを紹介しています。プログラムのカテゴリや受講対象、実施形態は様々です。目的にあわせてご利用ください。

プログラムの見方



動物1

小学生以上

講 義

動物の体を学ぶ

動物の赤ちゃん

所要時間	30分	
開催場所	動物会館	
募集人員/回	5～100名	
実施可能時期	通年（開園日）	
用意が必要なもの	筆記用具	
内 容	動物園で生まれた赤ちゃんはどんな姿か、どのように成長するのか、お母さんはどのように子育てするのかなど、動物による違いについて学びます。	
備 考	小学1年生の国語の教科書（光村図書）にも対応したプログラムです。	

動物2

小学生以上

講 義

動物園について学ぶ

動物園のじゅうい

所要時間	30～45分	
開催場所	動物会館	
募集人員/回	5～100名	
実施可能時期	通年（開園日）	
用意が必要なもの	筆記用具	
内 容	動物園の獣医は、小さなカエルから大きなゾウまで、また猛獣のライオンなど色々な動物を診ています。そんな獣医の仕事を紹介します。	
備 考	小学2年生の国語の教科書（光村図書）にも対応したプログラムです。	

申込・問い合わせ先等	東山動植物園（ www.higashiyama.city.nagoya.jp/ ）		
	TEL：052-782-2111	動物会館	教育プログラム担当 内線240・242
	FAX：052-782-2140	E-mail：higashiyamaprogram@lime.ocn.ne.jp	

動物3

小学生以上

講 義・ガイド

動物と環境について学ぶ

東山の絶滅危惧動物レクチャーツアー

所要時間	90分	
開催場所	動物会館・動物園内	
募集人員/回	25～35名	
実施可能時期	通年（開園日）	
用意が必要なもの		
内 容	動物園で飼育されている野生動物の多くが「絶滅危惧種」に指定されていることを知っていますか？このレクチャーツアーでは希少動物についてのレクチャーを受けて動物の直面している厳しい現実について学び、園内の動物舎を巡りながら自然環境への理解を深めます。	
備 考		

動物4

小学生以上

講 義・観 察

動物の体を学ぶ

動物の“うんち”

所要時間	30分	
開催場所	動物会館	
募集人員/回	5～100名	
実施可能時期	通年（開園日）	
用意が必要なもの	筆記用具	
内 容	動物には草食性、肉食性、雑食性があります。動物はそれぞれ何を食べて、どんなうんちをしているかを学びます。動物の“うんち”の標本を見ることができます。	
備 考		

申込・問い合わせ先等	東山動植物園（ www.higashiyama.city.nagoya.jp/ ）		
	TEL:052-782-2111	動物会館	教育プログラム担当 内線240・242
	FAX:052-782-2140	E-mail: higashiyamaprogram@lime.ocn.ne.jp	

動物5

小学生以上

講 義

動物園について学ぶ

動物園の役割

所要時間	60～90分	
開催場所	動物会館	
募集人員/回	25～100名	
実施可能時期	通年（開園日）	
用意が必要なもの	筆記用具	
内 容	動物園の役割は、めずらしい生き物を展示するだけではありません。実際に飼育することで動物についてよく知り、希少な動物を救うために貢献することも大切な使命です。動物園のもつ社会的な役割を学びます。	
備 考	出前講座としても対応します。	

動物6

小学生

講 義

動物と環境について学ぶ

リスのわすれもの

所要時間	30分	
開催場所	動物会館	
募集人員/回	5～100名	
実施可能時期	通年（開園日）	
用意が必要なもの	筆記用具	
内 容	リスは木の実を貯えて、あとで食べる「貯食」（ちょしょく）という習性をもっています。このおかげで、餌が乏しくなる真冬もリスは木の実を食べることができ、食べ残した実はやがて大きな木に成長します。このように、動物と植物はお互いに助け合って生きていることを学びます。	
備 考	小学2年生の国語の教科書（光村図書）にも対応したプログラムです。	

申込・問い合わせ先等	東山動植物園（ www.higashiyama.city.nagoya.jp/ ）		
	TEL：052-782-2111	動物会館 教育プログラム担当	内線240・242
	FAX：052-782-2140	E-mail：higashiyamaprogram@lime.ocn.ne.jp	

動物7

中学生以上

講 義

動物と環境について学ぶ

動物園で生物多様性を考える

所要時間	30～60分	
開催場所	動物会館	
募集人員/回	5～100名	
実施可能時期	通年（開園日）	
用意が必要なもの	筆記用具	
内 容	生き物はお互いに支えあって生きており、「多様性」を守ることは動物にとっても人間にとっても重要なことです。生物多様性の意味と大切さについて学びます。	
備 考		

動物8

小学生以上

講 義

動物園について学ぶ

ゾウ列車

所要時間	30分	
開催場所	動物会館	
募集人員/回	5～100名	
実施可能時期	通年（開園日）	
用意が必要なもの	筆記用具	
内 容	戦後東山動物園で生きのびたゾウに会うために走った「ゾウ列車」の実話を紹介し、動物の命を守ることの大切さを学びます。	
備 考		

申込・問い合わせ先等	東山動植物園（ www.higashiyama.city.nagoya.jp/ ）		
	TEL：052-782-2111	動物会館	教育プログラム担当 内線240・242
	FAX：052-782-2140	E-mail：higashiyamaprogram@lime.ocn.ne.jp	

動物9

小学生以上

講 義

動物園について学ぶ

飼育員のしごと

所要時間	30～60分	
開催場所	動物会館	
募集人員/回	5～100名	
実施可能時期	通年（開園日）	
用意が必要なもの	筆記用具	
内 容	動物園で働く飼育員の仕事を紹介します。中学生の職業調べ・職場訪問にも対応したプログラムです。	
備 考	講義のみで体験学習はできません。	

動物10

小学生（4年）以上

講 義

動物と環境について学ぶ

絶滅の危機にある動物

所要時間	30～60分	
開催場所	動物会館	
募集人員/回	5～100名	
実施可能時期	通年（開園日）	
用意が必要なもの	筆記用具	
内 容	地球上には、様々な生き物が様々な環境で生活して、自然界のバランスを保っています。しかし、今、多くの生き物が絶滅の危機にさらされています。絶滅危惧種となった野生動物の絶滅の現状を知るとともに、保護の必要性について学びます。	
備 考		

申込・問い合わせ先等	東山動植物園（ www.higashiyama.city.nagoya.jp/ ）		
	TEL：052-782-2111	動物会館 教育プログラム担当	内線240・242
	FAX：052-782-2140	E-mail：higashiyamaprogram@lime.ocn.ne.jp	

動物11

小学生以上

講 義・観 察

動物の体を学ぶ

骨格標本で生き物を学ぼう

所要時間	45～60分	
開催場所	動物会館	
募集人員/回	25～100名	
実施可能時期	通年（開園日）	
用意が必要なもの		
内 容	野生動物の骨格標本（レプリカ・写真含む）を活用し、動物の体のしくみや はたらきの違いを学んでいただき、小・中学校の授業を支援する講座です。	
備 考	事前に担任の先生と打合せを行います。	

動物12

中学生以上

講 義

動物の体を学ぶ

動物の体と働き

所要時間	30～60分	
開催場所	動物会館	
募集人員/回	5～100名	
実施可能時期	通年（開園日）	
用意が必要なもの	筆記用具	
内 容	動物の体のつくりには生態や行動により、さまざまな違いがあります。目・耳などの感覚器官、口・歯などの消化器官や肢・尾などの運動器官の違いについて学びます。	
備 考		

申込・問い合わせ先等	東山動植物園（ www.higashiyama.city.nagoya.jp/ ）		
	TEL：052-782-2111	動物会館 教育プログラム担当	内線240・242
	FAX：052-782-2140	E-mail：higashiyamaprogram@lime.ocn.ne.jp	

動物13

小学生以上

講 義

野生動物をもっと深く学

メダカ講座

所要時間	30～60分	
開催場所	世界のメダカ館または動物会館	
募集人員/回	25～100名	
実施可能時期	通年（開園日）	
用意が必要なもの		
内 容	かつてはどこでも見られたメダカも、現在は絶滅危惧種に指定されています。その生態を知り、自然環境への理解を深めます。	
備 考	出前講座としても対応しています。希少淡水魚講座としても対応できます。 実施時間10:00～12:00、13:00～15:00の間の60分	

動物14

小学生以上

講 義・見 学

野生動物をもっと深く学

カメ・カエル博士

所要時間	30～60分	
開催場所	動物会館	
募集人員/回	5～100名	
実施可能時期	通年（開園日）	
用意が必要なもの		
内 容	カメとカエルの仲間は、著しくその生息数を減らしています。飼育員の話聞き、その生態を知り、自然環境への理解を深めます。生体・標本などの観察のほかネイチャーゲームを行います。	
備 考	実施時間 11:00～12:00、14:00～15:00	

申込・問い合わせ先等	東山動植物園（ www.higashiyama.city.nagoya.jp/ ）		
	T E L : 052-782-2111	動物会館	教育プログラム担当 内線240・242
	F A X : 052-782-2140	E-mail : higashiyamaprogram@lime.ocn.ne.jp	

動物15

小学生以上

講 義・見 学

野生動物をもっと深く学

里山にすむ日本の動物を学ぼう

所要時間	30～60分	
開催場所	日本産動物エリア（こども動物園）	
募集人員/回	25～40名	
実施可能時期	通年（開園日）	
用意が必要なもの		
内 容	日本産動物を観察しながら、里山に暮らしている動物たちについて学びます。また、それらの動物たちを通して私たちの身近な自然や人との関わりについても考えます。飼育員の話聞きながら、「日本産動物エリア」を見学します。	
備 考	実施時間 11:00～12:00、14:00～15:00 *雨天中止	

動物16

小学生以上

講 義・見 学

野生動物をもっと深く学

クマと人の共存について

所要時間	30～60分	
開催場所	クマ舎	
募集人員/回	25～40名	
実施可能時期	通年（開園日）	
用意が必要なもの		
内 容	クマを通じて、その暮らしや行動、野生動物とヒトとのかかわりについて学びます。飼育員の話聞きながら、「クマ舎」を見学します。	
備 考	実施時間 11:00～12:00、14:00～15:00	

申込・問い合わせ先等	東山動植物園（ www.higashiyama.city.nagoya.jp/ ）		
	TEL：052-782-2111	動物会館 教育プログラム担当	内線240・242
	FAX：052-782-2140	E-mail：higashiyamaprogram@lime.ocn.ne.jp	

動物17

小学生（4年）以

講 義・見 学

野生動物をもっと深く学

動物園で学ぶ霊長類講座

所要時間	30～60分	
開催場所	サル舎、類人猿舎	
募集人員/回	25～40名	
実施可能時期	通年（開園日）	
用意が必要なもの	筆記用具	
内 容	東山で飼育している霊長類(サルの仲間)を観察して、その生態や環境対応について学びます。飼育員のお話を聞きながら、霊長類の飼育施設を見学します。	
備 考	実施時間 11:00～12:00、14:00～15:00	

動物18

小学生（4年）以上

講 義・見 学

野生動物をもっと深く学

コアラって不思議

所要時間	30～60分	
開催場所	コアラ舎	
募集人員/回	25～40名	
実施可能時期	通年（開園日）	
用意が必要なもの		
内 容	絶滅危惧種となってしまったコアラの生態について、東山動植物園での飼育エピソードを交えつつ、標本やユーカリ等も活用して学習します。また、野生における生息状況を紹介します。 このプログラムを通じて、コアラを守るために私たちができることを考えてみませんか。	
備 考	実施時間 11:00～12:00、14:00～15:00	

申込・問い合わせ先等	東山動植物園（ www.higashiyama.city.nagoya.jp/ ）		
	TEL：052-782-2111	動物会館 教育プログラム担当	内線240・242
	FAX：052-782-2140	E-mail：higashiyamaprogram@lime.ocn.ne.jp	

動物19

小学生以上

講 義・見 学

野生動物をもっと深く学ぶ

カバのひみつ

所要時間	30～60分	
開催場所	カバ舎	
募集人員/回	25～40名	
実施可能時期	通年（開園日）	
用意が必要なもの		
内 容	動物園では大人しいイメージがあるカバですが、野生では危険な動物として知られています。カバについては意外と知らないことがたくさんあるのではないのでしょうか。カバのひみつを飼育員と一緒に解き明かしませんか。	
備 考	実施時間 11:00～12:00、14:00～15:00	

動物20

小学生以上

講 義・見 学

野生動物をもっと深く学

ツシマヤマネコを守る

所要時間	30～60分	
開催場所	ツシマヤマネコ舎	
募集人員/回	25～40名	
実施可能時期	通年（開園日）	
用意が必要なもの		
内 容	ツシマヤマネコは長崎県の対馬（つしま）に生息する日本固有の小型のヤマネコです。環境省は絶滅の恐れのある野生動物としてレッドリストにのせ、保護をすすめています。ツシマヤマネコを守っていくためにはどうしたら良いのでしょうか。ツシマヤマネコの現状と動物園での取り組みについてご紹介します。	
備 考	実施時間 11:00～12:00、14:00～15:00 *雨天中止	

申込・問い合わせ先等	東山動植物園（ www.higashiyama.city.nagoya.jp/ ）		
	TEL：052-782-2111	動物会館 教育プログラム担当	内線240・242
	FAX：052-782-2140	E-mail：higashiyamaprogram@lime.ocn.ne.jp	

動物21

小学生以上

講 義・見 学

野生動物をもっと深く学ぶ

新発見！ アメリカ大陸動物なるほどツアー

所要時間	30～60分	
開催場所	アメリカゾーン（北園）	
募集人員/回	25～40名	
実施可能時期	通年（開園日）	
用意が必要なもの		
内 容	南北アメリカに生息し、絶滅が心配されている動物を紹介します。体のつくりや餌を食べている姿を観察しながら、動物たちが生息しているアメリカの環境問題について考えてもらう講座です。	
備 考	実施時間 11:00～12:00、14:00～15:00 *雨天中止	

動物22

小学生以上

講 義・見 学

野生動物をもっと深く学

アジアゾウをもっと知ろう ～ゾーシウム探訪～

所要時間	30～60分	
開催場所	動物会館・アジアゾウ舎（ゾーシウム）	
募集人員/回	25～40名	
実施可能時期	通年（開園日）	
用意が必要なもの	筆記用具	
内 容	”ゾーシウム”は新しいアジアゾウの飼育展示施設です。この講座ではアジアゾウの生態はもちろんのこと、その歴史や人とのかかわりについても学ぶことができます。東山にいるアジアゾウの故郷（ふるさと）であるスリランカについてもご紹介します。	
備 考	実施時間 11:00～12:00、14:00～15:00	

申込・問い合わせ先等	東山動植物園（ www.higashiyama.city.nagoya.jp/ ）		
	TEL：052-782-2111	動物会館 教育プログラム担当	内線240・242
	FAX：052-782-2140	E-mail：higashiyamaprogram@lime.ocn.ne.jp	

動物23

小学生以上

講 義・見 学

野生動物をもっと深く学ぶ

レッサーパンダをもっともっと知ろう

所要時間	30～60分	
開催場所	動物会館	
募集人員/回	25～40名	
実施可能時期	通年（開園日）	
用意が必要なもの		
内 容	レッサーパンダってどんな動物？ 知っているようで知らないレッサーパンダの体の仕組みや興味深い習性を飼育員がわかりやすく解説し、レッサーパンダ舎での見どころを教えます。	
備 考	実施時間 11:00～12:00、14:00～15:00	

動物24

小学生以上

講 義・見 学

野生動物をもっと深く学

動物園のレストラン

所要時間	30～60分	
開催場所	飼料室、動物会館	
募集人員/回	25～40名	
実施可能時期	通年（開園日）	
用意が必要なもの		
内 容	各種動物たちの餌について学び、合わせて食物連鎖、生物の多様性について学びます。飼料室担当者の話を聞きながら、「飼料室」を見学します。	
備 考	実施時間 11:00～12:00、14:00～15:00	

申込・問い合わせ先等	東山動植物園（ www.higashiyama.city.nagoya.jp/ ）		
	TEL：052-782-2111	動物会館 教育プログラム担当	内線240・242
	FAX：052-782-2140	E-mail：higashiyamaprogram@lime.ocn.ne.jp	

動物25

小学生以上

講 義・ガイド

動物の体を学ぶ

色とりどりの鳥のふしぎ

所要時間	45～60分	
開催場所	動物会館・動物園内	
募集人員/回	25～40名	
実施可能時期	通年（開園日）	
用意が必要なもの	筆記用具	
内 容	鳥が空を飛べる秘密はどこにあるのでしょうか。飛ぶための体のつくりや、鳥と人間の体で違うところ、同じところを学びます。また、様々な種類の鳥の羽根を手にとって比較した後、園内へ出て動物を観察します。	
備 考	実施時間 10:00～12:00、13:00～15:00	

動物26

小学生（4年）以

講 義

動物と環境について学ぶ

動物園で学ぶSDGs

所要時間	45～60分	
開催場所	動物会館	
募集人員/回	25～100名	
実施可能時期	通年（開園日）	
用意が必要なもの	筆記用具	
内 容	SDGsの目標を通して、動物たちの未来のために私たちができることは何かを考えていきます。簡単なゲームを行いながら、動物たちが置かれている環境の変化や生息数が減少している原因についても学びます。	
備 考	実施時間 10:00～12:00、13:00～15:00	

申込・問い合わせ先等	東山動植物園（ www.higashiyama.city.nagoya.jp/ ）		
	TEL：052-782-2111	動物会館 教育プログラム担当	内線240・242
	FAX：052-782-2140	E-mail：higashiyamaprogram@lime.ocn.ne.jp	

動K1

園児（保護者）

ガイド

どうぶつ入門コース

コアラとユーカリのおはなし

所要時間	30分	
開催場所	コアラ舎	
募集人員/回	20～35名	
実施可能時期	通年（開園日の平日）	
用意が必要なもの		
内 容	ユーカリには多くの種類があります。コアラはこれらをかぎ分けるためとても鼻が発達していることは知っていますか？コアラの秘密をもっと知みましょう。	
備 考	実施時間 10:30～12:00、13:30～14:00の間の30分 小学校（低学年）も対応します。※雨天中止	

動K2

園児（保護者）

ガイド

どうぶつ入門コース

ゾウの食べものとウンチのおはなし

所要時間	30分	
開催場所	アジアゾウ舎	
募集人員/回	25～30名	
実施可能時期	通年（開園日の平日）	
用意が必要なもの		
内 容	大きなゾウは、どんなものを食べ、どんなウンチをしているか知っていますか？ゾウのことをもっと知みましょう。	
備 考	実施時間 10:30～12:00、13:30～14:00の間の30分 小学校（低学年）も対応します。※雨天中止	

申込・問い合わせ先等	東山動植物園（ www.higashiyama.city.nagoya.jp/ ）		
	TEL：052-782-2111	動物会館 教育プログラム担当	内線240・242
	FAX：052-782-2140	E-mail：higashiyamaprogram@lime.ocn.ne.jp	

動K3

園児（保護者）

ガイド

どうぶつ入門コース

カンガルーとふくろのおはなし

所要時間	30分	
開催場所	カンガルー舎	
募集人員/回	25～40名	
実施可能時期	通年（開園日の平日）	
用意が必要なもの		
内 容	カンガルーのおなかの「ふくろ」の中はどうなっているの？また、どのように子育てをしているか知っていますか？カンガルーのことをもっと知りましょう。	
備 考	実施時間 10:30～12:00、13:30～14:00の間の30分 小学校（低学年）も対応します。※雨天中止	

動K4

園児（保護者）

ガイド

どうぶつ入門コース

アジアゾウ「マカニー」と「エルド」のおはなし

所要時間	30分	
開催場所	動物会館	
募集人員/回	25～40名	
実施可能時期	通年（開園日の平日）	
用意が必要なもの		
内 容	東山の長い歴史のなかで、アジアゾウの”マカニー”と”エルド”が登場するお話はとても感動的でアニメ作品にもなりました。戦後、多くの子どもたちに夢と希望を与えたこの「ゾウ列車」のエピソードを、オリジナルの紙芝居で紹介し、動物園内のミニツアーも行います。	
備 考	実施時間 10:30～12:00、13:30～14:00の間の30分 小学校（低学年）も対応します。	

申込・問い合わせ先等	東山動植物園（ www.higashiyama.city.nagoya.jp/ ）		
	TEL：052-782-2111	動物会館 教育プログラム担当	内線240・242
	FAX：052-782-2140	E-mail：higashiyamaprogram@lime.ocn.ne.jp	

動K5

園児（保護者）

ガイド

どうぶつ入門コース

メダカとザリガニのおはなし

所要時間	30分	
開催場所	世界のメダカ館	
募集人員/回	25～40名	
実施可能時期	通年（開園日の平日）	
用意が必要なもの		
内容	ニホンメダカが体の色を変化させることは知っていますか？アメリカザリガニのオスとメスの見分け方は分かりますか？身近な動物でもまだまだ知らないことがありますね。日本の固有種であるメダカとアメリカからやってきたザリガニについてもっと知りましょう。	
備考	実施時間 10:30～12:00、13:30～14:00の間の30分 小学校（低学年）も対応します。	

動K6

園児（保護者）

ガイド

どうぶつ入門コース

オランウータンと森のおはなし

所要時間	30分	
開催場所	オランウータン舎	
募集人員/回	25～40名	
実施可能時期	通年（開園日の平日）	
用意が必要なもの		
内容	みなさん、チョコレートやポテトチップは好きですか？みんなが食べているお菓子やお母さんの使っている化粧品とオランウータンのすむ南の島とは深いつながりがあります。オランウータンの食べ物や現在の生息状況について紙芝居をまじえて楽しく紹介します。オランウータンの手形・足形が私達とどう違うかも比べてみましょう。	
備考	実施時間 10:30～12:00、13:30～14:00の間の30分 小学校（低学年）も対応します。※雨天中止	

申込・問い合わせ先等	東山動植物園（ www.higashiyama.city.nagoya.jp/ ）		
	TEL：052-782-2111	動物会館 教育プログラム担当	内線240・242
	FAX：052-782-2140	E-mail：higashiyamaprogram@lime.ocn.ne.jp	

動K7

園児（保護者）

ガイド

どうぶつ入門コース

サイと角のおはなし

所要時間	30分	
開催場所	クロサイ舎	
募集人員/回	25～40名	
実施可能時期	通年（開園日の平日）	
用意が必要なもの		
内 容	サイの仲間は、アフリカとアジアに5種類います。体が大きく立派な角を持っていて、動物園では人気がありますが、野生では住む場所が失われ、また、角を薬などにするために乱獲され、絶滅が心配されています。サイはどんな動物か、どうしたらサイを守ることができるか、一緒に考えます。	
備 考	実施時間 10:30～12:00、13:30～14:00の間の30分 小学生（低学年）も対応します。※雨天中止	

動K8

園児（保護者）

ガイド

どうぶつ入門コース

ゴリラってどんな動物？

所要時間	30分	
開催場所	アフリカの森	
募集人員/回	25～40名	
実施可能時期	通年（開園日の平日）	
用意が必要なもの		
内 容	野生のゴリラが、どんなところに住み、どんな暮らしをしているか知っていますか。また、生息頭数が減っていることは知っていますか。紙芝居形式で紹介します。	
備 考	実施時間 10:30～12:00、13:30～14:00の間の30分 小学校（低学年）も対応します。※雨天中止	

申込・問い合わせ先等	東山動植物園（ www.higashiyama.city.nagoya.jp/ ）		
	TEL：052-782-2111	動物会館 教育プログラム担当	内線240・242
	FAX：052-782-2140	E-mail：higashiyamaprogram@lime.ocn.ne.jp	

動K9

園児（保護者）

ガイド

どうぶつ入門コース

ホッキョクグマと氷のおはなし

所要時間	30分	
開催場所	動物会館	
募集人員/回	25～40名	
実施可能時期	通年（開園日の平日）	
用意が必要なもの		
内 容	ホッキョクグマはヒグマと並ぶ陸上で最大の肉食獣で、北極などの氷におおわれた海をすみかにしています。ところが、ホッキョクグマは地球温暖化で困っています。地球の温度が上がることで、エサとなるアザラシを捕獲するときに大切な足場となる氷が溶けてしまうのです。私たちが少し努力することで、地球が変わり、動物たちを助けることができるかもしれません。	
備 考	実施時間 10:30～12:00、13:30～14:00の間の30分 小学生（低学年）も対応します。	

動K10

園児（保護者）

ガイド

どうぶつ入門コース

レッサーパンダってどんな動物？

所要時間	30分	
開催場所	レッサーパンダ舎付近	
募集人員/回	20～35名	
実施可能時期	通年（開園日の平日）	
用意が必要なもの		
内 容	レッサーパンダの体の特徴、食べ物、行動の特徴を知っていますか？レッサーパンダのことをもっと知みましょう。	
備 考	実施時間 10:30～12:00、13:30～14:00の間の30分 小学校（低学年）も対応します。※雨天中止	

申込・問い合わせ先等	東山動植物園（ www.higashiyama.city.nagoya.jp/ ）		
	TEL：052-782-2111	動物会館 教育プログラム担当	内線240・242
	FAX：052-782-2140	E-mail：higashiyamaprogram@lime.ocn.ne.jp	

動V1

視覚障害者(小学生以上)

講義・体験

野生動物をもっと深く学

ヘビ博士になろう

所要時間	60分	
開催場所	動物会館	
募集人員/回	7名以下(介助者は含まない)	
実施可能時期	通年（開園日の平日）	
用意が必要なもの		
内 容	ヘビの生態について模型や標本の触察を通して楽しみながら学びます。その独自の姿形のために嫌われがちなヘビですが、受講後には思わず誰かに伝えたいようなヘビの凄さを発見することができる講座です。	
備 考	参加者2名に対して介助者1名以上の同行が必要。実施時間については事前にご相談ください。	

動V2

視覚障害者(小学生以上)

講義・体験

動物の体を学ぶ

糞フン、なるほど!? うんちの話

所要時間	60分	
開催場所	動物会館	
募集人員/回	7名以下(介助者は含まない)	
実施可能時期	通年（開園日の平日）	
用意が必要なもの		
内 容	動物のうんち(実物)を始め、動物園で実際に与えている餌や様々な標本を用いる講座です。嗅覚や触覚から得られる情報をもとに複数の動物を比較することを通して、その形態や生態について学習します。	
備 考	参加者2名に対して介助者1名以上の同行が必要。実施時間については事前にご相談ください。	

申込・問い合わせ先等	東山動植物園 (www.higashiyama.city.nagoya.jp/)		
	T E L : 052-782-2111	動物会館	教育プログラム担当 内線240・242
	F A X : 052-782-2140	E-mail : higashiyamaprogram@lime.ocn.ne.jp	

動V3

視覚障害者(小学生以上)

講義・体験

野生動物をもっと深く学ぶ

サルでもあり、ヒトでもある、その正体は？

所要時間	60分	
開催場所	動物会館	
募集人員/回	7名以下(介助者は含まない)	
実施可能時期	通年（開園日の平日）	
用意が必要なもの		
内 容	骨格標本や手形足形などを手に取ってもらい「とある動物」の正体を探ります。そしてその動物が動物園で使っている道具を実際に扱ってみることにより、その動物の器用さや賢さについて理解を深めます。	
備 考	参加者2名に対して介助者1名以上の同行が必要。実施時間については事前にご相談ください。	

申込・問い合わせ先等	東山動植物園 (www.higashiyama.city.nagoya.jp/)	
	T E L : 052-782-2111	動物会館 教育プログラム担当 内線240・242
	F A X : 052-782-2140	E-mai l : higashiyamaprogram@lime.ocn.ne.jp